

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和6年8月1日

米子市議会議長様

会派名 自由創政
代表者氏名 戸田 隆次
提出者氏名 塚田 佳充



下記のとおり報告します。

記

項目	☐ 現地調査 ☐ 行政視察 ☐ 要請・陳情活動 ☒ 研修会への参加 ☐ 会議への参加
参加者	塚田 佳充
期 日	令和6年7月29日～令和6年7月30日（2日間）
〔概要〕（年月日・場所・内容） ◆令和6年7月30日 10時00分～16時30分 ◆リファレンス駅東ビル（福岡県博多区博多駅東一丁目16-14） ◆地方議員研修CKセミナー「防災減災特別講座1及び2」	
〔所感等〕 別紙のとおり	
経 費	旅費合計 87,110円

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

研修報告書

「概要」

令和6年7月30日（火）10:00～16:30

リファレンス駅東ビル

地方議員研修CKセミナー 防災減災特別講座1・2

講師：川本達志（元・廿日市副市長）

「内容」

* 防災減災特別講座1

- 1、自治体の防災における役割について
- 2、法律や計画から学ぶ
- 3、過去の災害から学ぶ
- 4、国民保護計画について

* 防災減災特別講座2

- 1、土砂災害に備えるために必要なこと
- 2、国からの財政措置について
- 3、議会・議員がなすべきこと

主な質疑応答

Q：災害復旧事業によって、災害の速やかな普及を図り、もって公共の福祉を確保することとあるが、正月に起きた能登半島地震直後から数カ月も上下水道が普及しなかったのは何故か

A：普及しなければならない箇所が多すぎた。漏れがあってはならない為、調査に時間を有したと考えられている。単市で上下水道を管理するのは有事の際には困難である為、県と協力体制を取る事が必要である。

「所感」

議員は自治体の地域防災計画を把握することから始まり、知識と経験がなければならぬ。「議員は地域の防災知識の伝道師であるべき」と強く感じた。防災には「自助」「共助」がとても重要。そのために、研修会等を開催し、理解と啓発活動が必要であると分かった。教育現場でも防災を取り入れ、消防・公民館・自治会・小中学校で防災キャンプ等を開催し、知識、経験させ防災意識を高め推進していく必要性を改めて考えるよい機会となった。今後の市政に活かしていきたいと考える。

行程（会派自由創政：塚田議員）

月 日	行 程	宿泊先
7 / 29 (月)	19:15 20:25 20:55 21:00 21:11 出雲空港=====福岡空港=====博多駅=====ホテル JAL 3554便 福岡市地下鉄空港線 徒歩約 11 分	【ホテル】 博多東急 REI ホテル 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-2-23 ☎092-451-0109
7 / 30 (火)	9:34 9:45 ホテル=====リファレンス駅東ビル 徒歩約 11 分	
	10:00～16:30 場所：リファレンス駅東ビル（福岡市博多区博多駅東1丁目16-14） 地方議員研究会CKセミナー 防災減災特別講座1・2：川本講師	
	16:00 16:05 16:12 16:17 17:35 18:45 リファレンス駅東ビル=====博多駅=====福岡空港=====出雲空港 徒歩約 5 分 福岡市地下鉄空港線 JAL 3555便	

◆ 米子市～出雲空港間は山陰道経由（有料）で1時間程度

自由創政
地方議員研究会 C K セミナ

自由創政

地方議員研究会 C K セミナリ

議員旅費	54,360 × 1名 =	54,360 円
発券手数料	2,200 × 1名 =	2,200 円
取扱料金	550 × 1名 =	550 円
受講料	30,000 × 1名 =	30,000 円
	合計	87,110 円

塚田議員の申し出により、福岡空港から博多駅までのJR代については、政務活動費から支出しない